



Walk with Children

めぐろ



せいび

182号
2022年9月

「天におられる私たちの父よ…み心が天に行われるとおりに、地にも行われますように。」

(マタイ6章9-10節)

校長 シスター 小島 理恵

長い休みの期間を終え、子ども達の明るい笑顔が学校に戻ってきました。未だ新型コロナウイルス感染症収束の兆しの見えない中、2学期のスタートを迎えましたが、感染防止対策には引き続き力を入れ子ども達が安心して生活できるよう、教職員一同尽力してまいります。

先日、一斉配信にてお知らせしました通り、学校ホームページ「在校生保護者の方」に「学校生活におけるガイドライン」をアップしていますので、コロナ関連での不明な点は、そちらで確認していただければと思います。コロナ以前の学校がいつ戻ってくるのか、いつになったらマスクなしでのびのびと学校生活を送れるのかと、子ども達の我慢を思うといたたまれない気持ちになりますが、神様は必ず良い方向へと導いてくださることに信頼し、今できることをしっかりと行っていきたいと思います。

今学期も、どうぞよろしく願いいたします。

コンネッショナー
Conessione

～つながり～



隠れた行いをご覧になるあなたの父が報いてくださる。

マタイ6章6節

毎朝の朝礼で子ども達は、イエス様が私達に教えてくださった『主の祈り』を唱えます。今号冒頭のみことば(9~10節)は、その一部です。イエス様はそれと共にこのみことば(6節)を話され、祈る時に大切なことも教えてくださいました。

祈る時、その祈りを人に見せるために、自分の信心深さを誇るためにするのであれば意味がありません。心を神様に向け、神様の目を意識し、神様と交わることが大切です。

神様は私達の思いをご存じです。私達の祈りがうまく言葉にならなくても、素直な祈りを待ち、深く頷きながら聞いてくださるでしょう。イエス様は、私達に必要なこと全てをご存じの神様に、安心して飛び込んでいける祈りを教えてくださり、「思いのまま祈ってごらん」と励ましてくださっています。それが『主の祈り』です。

私達の心が神様に向かう時、それは祈りの時です。目立とうとしなくても神様はしっかり見てくださっています。ゆっくりと心を込めて神様に祈る時を子ども達と共に過ごしましょう。

6年生 美ら島学校

6年生は沖縄の美ら島学校で平和学習を行いました。空港に降り立った時には笑顔でいっぱいの子ども達でしたが、沖縄戦当時の様子を知り、歴史と向き合い、想いを深めることで、真剣な学びの表情へと変わっていきました。4日間の学びを通して、平和を願う心が一層強くなりました。

命の尊さ

6年生

私は美ら島学校に行って、改めて命の尊さを学んだ。特にひめゆり資料館を見学したときに私は、命について深く考えさせられた。

ひめゆり学徒隊の少女たちは、ガマの中で爆弾の音を聞いて、いつ死ぬのかもわからなくて不安だったと思う。しかも、避難でガマを移動しなければいけない時、けがで重症の兵士さんは置いていくと知って、その時どんなにつらかったか、苦しかったかが想像できた。

今私は、つらい時には泣くことができるが、戦争中は敵に見つかるからと、泣くことすら許されなかった。自分の命を守るため、どんなに必死だったのだろうか…。昔の人も、命が尊いものだと知っていたのに戦争で多くの人が亡くなってしまった。

彼らから今生きている私達へ。「命は尊く、守るものだ」という思いのバトンはこれからも私達によってつながっていく。



3年生 山中湖林間学校

3年生は学校に入学して初めての合宿を行いました。荷物の準備なども自分たちで行ったり、現地で様々な自然に触れたりして、充実した3日間を過ごしました。

楽しい合しゆく

3年生

ぼくは、6月22日に山中湖へ合しゆくに行きました。

一番心にのこったことは、山中湖のスケッチです。なぜなら、山中湖がきれいで、新せんな風がふいたからです。目の前にはたくさんのしぜんが広がっていて、気持ちよくかけました。また、ふじ山も見えてよりいい気持ちでした。

合しゆくに行って、みんなと協力して、楽しくすごすことを学びました。生活はんのみんなで時間を守って行動したり、活動はんでオリエンテーションをじゅんびしたり、協力しました。「遊ぶときは遊ぶ」「切りかえをするときは切りかえをする」ことを意識すると、楽しいこともふえました。

これからも、神様の子どもらしく、明るく元気で友だちと仲良く学校生活を送っていきたいです。

